

令和8年2月10日

東浦町議会
議長 鏡味昭史 殿

まちづくり委員会
委員長 水野久子

まちづくり委員会行政視察報告書

1. 視察年月日 令和8年1月21日（水）
22日（木）は計画運休のため、中止
2. 視察先 1月21日 京都府福知山市
人口73,924人（令和7年11月末現在、面積552.54km²）
3. 参加者 まちづくり委員会
水野久子、北野興地、長坂知泰、久松純志、山田眞悟
まちづくり部 棚瀬憲二部長
議会事務局 松野竜也主事
4. 視察の目的 自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）についての調査
5. 視察先の概要

- ア、福知山市の概況 市制施行 昭和12年度
市町村合併 平成18年1月1日
（旧福知山市、三和町、夜久野町、大江町）
65歳以上人口比 30.8%
75歳以上人口比 17.2%
- イ、公共交通の概況
- ・鉄道（市内15駅）
 - ・高速バス（4路線）
 - ・路線バス（民間15路線）
 - ・路線バス（コミュニティバス）自主運行バス3路線
市営バス9路線
 - ・タクシー 3社 69台
 - ・自家用有償旅客運送
福祉有償運送 7団体
交通空白地有償運送 3地域
 - ・乗合タクシー 1地域
 - ・スクールバス（市教委） 35路線

ウ、交通空白地有償運送

	鴨野町（かものシャトルバス）	三和町（みわひまわりライド）	大江町（鬼タク）
実施主体	社会福祉法人「成光苑」	三和地域協議会	大江まちづくり住民協議会
運行区域	定時定路線型	区域運行型	区域運行型
主な用途	買い物、通院等	市役所、スーパー、コンビニ、コミュニティセンター等	市役所、スーパー、コンビニ、病院、高校等

エ、三和町・大江町の概況

	三和町	大江町
人口	3048人	3935人
世帯数	1318世帯	1617世帯
面積	90.53km ²	96.81km ²

オ、市バスの再編と有償運送

まちづくり住民組織が実施主体となり、ドア・ツー・ドアサービス型の交通空白地有償運送を運行開始。

・平成29年～三和ひまわりライド

⇒本市で初めてとなるドア・ツー・ドアサービス型で運行開始

・令和3年～大江鬼タク

⇒令和2年の道路運送法改正によって、運行前点呼、受付予約、配車等をタクシー事業者へ委託、大江山等への観光客を対象とした「観光利用（定路線）」も実施

カ、運行の詳細

	生活利用	
	みわひまわりライド	大江鬼タク
利用者	三和地域にお住まいの方または来訪される方（要登録）	大江地域にお住まいの方または来訪される方（要登録）
運行日	月～金の8:30～17:00（祝日および年末年始を除く）	月～土の8:30～17:00（祝日および年末年始を除く）
運行区域	三和町内（ドア・ツー・ドア型区域運行）	大江町内（ドア・ツー・ドア型区域運行）
利用料金	400円/人・回	400円/人・回
利用方法	利用希望日の2日前までに専用ダイヤルに電話予約	利用希望日の前日正午までに専用ダイヤルに電話予約

	観光利用	大江鬼タク
利用者	-----	観光旅客その他の大江地域を訪問する方
運行日	-----	土・日・祝の8:30～17:00（年末年始を除く）
運行区域	-----	大江町内（ドア・ツー・ドア型区域運行）
利用料金	-----	800円/人・回
利用方法	-----	利用希望日の前々日17時までに専用ダイヤルに電話予約

	ドライバー	
	みわひまわりライド	大江鬼タク
登録	19人（男15人・女4人・平均68.5歳）/登録車両19台	21人（男17人・女4人・平均68.3歳）登録車両19台
条件	自動車運転歴10年以上/75歳未満/過去2年以内免許停止期間がないこと	自動車運転歴10年以上/75歳未満/過去2年以内に免許停止期間がない/1年以上無事故無違反
手当	運転1回につき、持込車両800円/会有車500円	運転1回につき、800円

キ、利用状況

	みわひまわりライド	大江鬼タク
登録者数	200人	180人
実利用者	177人	50人（観光利用45人）
平均年齢	81.6歳	82.9歳
利用回数	1043回	928回（観光利用137回）
主な用途	買い物等、その他	医療機関、交通機関乗継、 買い物等、その他

6. 所感

・少子高齢化、人口減少など社会環境の変化は、地形や地域性を含め、地方都市における地域公共交通を維持するため、避けられない課題である。視察した福知山市は、地域の実情やニーズに適応した、輸送資源の総動員という観点から、多様な交通体系の組み合わせにより、持続可能な生活移動手段の確保に努めていることを強く感じた。本町は人口密度が高く、生活の利便性に優れているが、地域住民と関係機関等との連携により効率的な、地域公共交通が構築されることを期待したいと思う。

・福知山市の面積は552.54㎡ 東浦町は31.14㎡。約17倍の面積であり平成18年に市町村合併をしていると理解できた。

・福知山市の自家用有償旅客運送に、①鴨野町・かものシャトルバス ②三和町・みわひまわりライド ③大江町・鬼タク等があると理解できた。

・三和町、大江町などは市バス再編の代替として、地域の住民協議会が一部事業者の協力も得ながら実施していると理解できた。

・コアな利用者を中心に考えながら、利用者を取り込んでいく考え方を持つ。

・本町で考えると、何よりもまず交通空白地であると認知されることが必要であると感じた。

・本町で、まずコアな利用時間帯で依頼してからタクシーは何分来るのかなど、議員自身がミステリーショッパーとして体験の上で、理解していないと意見できないと感じた。

・市バスの再編と有償輸送について

人口減少、少子高齢化、過疎化による輸送の総量の低下や人口密度の低下、通勤通学のような定時反復利用が減少し、輸送効率の低下を踏まえるとともに地域の移動ニーズ（バス停までが遠い・重い荷物を持って歩いたり、バスに乗るのがつらい・利用したい時間帯にバスが来ない・目的地までのバスでの行き方がわからない）を勘案し、地域公共交通の再編を先進的に開始しており、非常に参考になった。

・地域公共交通の再編に当たって、平成29年からまちづくり住民組織（役所OB中心）が実施主体となって、ドア・ツー・ドアサービス型の交通空白地有償輸送を開始。令和2年の道路運送法改正によって、業務負担の大きい、運行前点検・予約受付・配車等をタクシー事業者に委託し、有償ボランティアのドライバーを活用した地域興しの一環として、観光客を対象とした観光路線（定期線）大江町鬼タクを運行しており、法改正を利用した輸送を構築している。

・地域の实情に合わせて、市町村やNPO法人等が、単独で公共交通機関を利用できない身体障害者等を対象に、原則、ドア・ツー・ドアの個別輸送を行う路線バスに近い福祉有償輸送（かものシャトルバス）も実施されており地域密着型として参考になった。

・今後の課題として、一番コアなお客や利用者にスポットを当てて、更に拡げて行くのが良いのか、各有償輸送のドライバーの継続確保なども上げており、その問題解決策なども今後も参考になるものと考えている。

・東浦町と比較にならない広大な山間部の公共交通を維持運営していくには大変な苦勞のようだ。無理難題の中で進められている。福祉事業でもあるようです。本町と比較にならない交通難民が生まれ、その住民の足の確保を継続維持していくにはこの先どうなるのでしょうか。

・平成18年の市町村合併（旧福知山市、三和町、夜久野町、大江町）により、広大な面積の市となった。年々、人口減少などで、市バスなどの利用が低下となり、効率化が図られることで、公共交通の空白地が増え、住民の移動が困難な地域も出てきたので、移動手段の確保の必要性を感じ、それぞれの地域で特色のある移動手段が考えられていったと思われる。本町と交通事情に違いはあるが、見習うところも十分にあると感じた。

